

平成28年度

# 次世代育成基金 活用事業 実施報告書



杉並区次世代育成基金は、次世代を担う子どもたちが、自然・文化・芸術・スポーツなど様々な分野における体験・交流事業への参加を通して、視野を広げ、将来の夢に向かって健やかに成長できるように支援するための区独自の仕組みです。平成28年度は7つの区主管の事業と、3つの民間事業が実施されました。

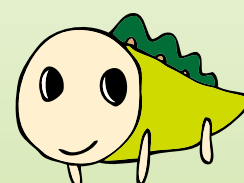
寄付の方法は・・・

- 次世代育成基金リーフレット備付の払込取扱票を使用し、郵便局窓口から払い込んでください。(払込手数料は区が負担いたします)
- その他金融機関窓口、インターネットバンキング等を利用したの払込も可能です。(振込手数料はご負担いただきます。)

指定口座：ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキュウ)店  
当座預金 0600114  
杉並区次世代育成基金

平成28年度までに(5年間)いただいた寄付は、

**2,115件**      **69,939,945円**  
**応援ありがとうございました。**



杉並区児童青少年課 TEL.03-3393-4760 FAX.03-3393-4714



## 次世代育成基金を活用して 区が実施した事業



スポーツ振興課

### チャレンジ・アスリート

■参加者

小学1年生～中学3年生 129名

■実施期間

平成28年7月30日～平成29年2月12日(3回開催)

■事業内容

オリンピック選手といったトップアスリートとの交流を通じてスポーツとの関わり方やスポーツの持つ多様な可能性に触れることを目的とし、以下の教室や体験を行いました。

第1回 \*オリンピック選手と楽しくスポーツしよう!

「陸上競技」「サッカー」

第2回 \*パフォーマンスを高める準備運動

\*オリンピック選手と楽しくスポーツしよう!「テニス」

\*パラリンピック種目に挑戦しよう!「陸上競技」

第3回 \*スーパー準備運動「なわとび」

\*オリンピック選手と楽しくスポーツしよう!「体操」

\*パラリンピック種目に挑戦しよう!

「車いすバスケットボール」



児童青少年課

国内子ども交流事業

### 杉並区・名寄市子ども交流会

■参加者

小学4年生～6年生 25名

■実施期間

(名寄編)平成28年7月28日～7月31日

(杉並編)平成28年8月5日～8月8日

■事業内容

杉並区と名寄市との友好都市交流事業の一環として、お互いの土地に赴き、子ども同士が交流する中で、それぞれの生活や文化に対する理解を深めました。名寄市では「風連農産物出荷調整利雪施設」「北国博物館」などを見学、杉並区では、地下鉄体験や国立科学博物館のほか阿佐谷七夕を見学しました。



スポーツ振興課

### 交流自治体中学生親善野球大会

■参加者

中学2年生 34名

■実施期間

平成28年10月8日～10日

■事業内容

杉並区と交流のある台湾台北市、南相馬市、名寄市、南伊豆町、東吾妻町の中学生を迎え、西武プリンスドームでの元プロ野球選手による野球教室、親善試合(全6試合)を行うと共に、異文化理解・国際理解を深めることを目的に、台北市選手団と杉森中学校の中学生交流夕食会を開催しました。



児童青少年課 国内子ども交流事業

## 杉並区・東吾妻町子ども交流会

### ■参加者

小学4年生～6年生 25名

### ■実施期間

(東吾妻編)平成28年8月17日～8月18日

(杉並編)平成28年8月19日～8月20日

### ■事業内容

杉並区と東吾妻町との友好都市交流事業の一環として、お互いの土地に赴き、子ども同士が交流する中で、それぞれの生活や文化に対する理解を深めました。東吾妻町ではハッ場見放台、ハッ場大橋、箱島湧水などを訪れ、杉並区ではゆう杉並(児童青少年センター)を拠点に、東京スカイツリーや浅草を見学しました。



生涯学習推進課

## 小学生名寄自然体験交流事業

### ■参加者

小学5・6年生 25名

### ■実施期間

平成28年12月26日～12月28日

(学習成果発表会:平成29年2月5日)

### ■事業内容

生活・文化の違いを認め合う心、知的好奇心や豊かな人間性を育むことを目的に、交流自治体である名寄市の冬の厳しい寒さと豊かな自然の中に身を置きながら、冬の天体観察、スノーシュートレッキング、屋外でのアイスクリーム作りなどを体験しました。



済美教育センター

## 中学生海外留学 (第4期)

### ■参加者

中学2・3年生 25名

### ■実施期間

事前学習会(5回)

留学期間 平成28年8月17日～8月29日

事後学習会(3回)

### ■事業内容

海外における生活や現地の人々との交流を通して、豊かな人間性を培い、国際感覚や英語によるコミュニケーション力を磨くことを目的に、中学生が交流都市・オーストラリア連邦ウィロビー市に留学しました。



済美教育センター

## 中学生小笠原自然体験交流 (第5期)

### ■参加者

中学生 30名

### ■実施期間

事前学習会(3回)

派遣期間 平成29年3月25日～3月30日

事後学習会(3回)

### ■事業内容

貴重な自然や、その自然に育まれた文化の中で、子どもたちの豊かな人間性を育み、地域における環境保全活動の推進役となり得る生徒を育成することを目的として、世界自然遺産である小笠原に中学生を派遣しました。





## 高校生国際交流事業 (Cedar Youth International Project in Germany)

■参加者 高校生 8名

■実施期間

(事前研修) 平成28年9月～平成29年3月(全6回)

(研修旅行) 平成29年3月18日～3月28日

■事業内容

国内で英語やドイツの文化等について研修を重ねたうえで、ドイツへの研修旅行を実施しました。ドイツでは、現地のドイツ人学生ボランティアと寝食を共にしながら、実践的に英語を使い、相互理解を深めました。



## サイエンスホッパーズ科学実験教室

■参加者 小学4年生～高校生 393名

■実施期間

平成28年4月23日～平成29年3月18日(全16回)

■事業内容

生活に身近な科学を実際に体験する科学実験教室を開催し、喜び・驚き・感動を持って学べる場を提供しました。

★実験教室テーマ例★

「藍染の化学」「顕微鏡の世界」「星座早見盤づくり」  
「アンモナイト化石を学ぼう」など



## 杉並・テキサス交流プロジェクト

■参加者 小学4年生～6年生 46名

■実施期間

平成28年7月31日～平成29年2月26日(全4回)

■事業内容

小学生の頃から海外の異なる文化や価値観に触れる機会を設けるため、アメリカの小学生とビデオレター等を使って交流しました。



## ご寄付いただいた方からの声...

### 主人との思い出の基金 これからも応援します

この基金が創設された平成24年、結婚60周年を記念して夫婦旅行を計画していたのですが、主人が体を壊して外出が困難になってしまいました。そのときに広報でこの基金を知り、子どもたちの明るい未来に向けて、夢を届けて上げられればと、寄附をすることにしました。それ以降、毎年寄附を続けてきましたが、主人との結婚記念の思い出となったこの基金を、これからも応援していきたいと思っています。そして、この基金により多くの子どもたちが夢を描き、健やかに育っていくことを願っています。



渡邊 豊子さん(上井草在住)

### 子どもたちの「将来してみたい仕事」を育てたい

日頃から子どもたちの教育に関心がありました。広報でこの基金のことを知り、3年前から寄附を続けています。この基金を活用した事業で、普段の家庭生活や学校生活では経験できない体験をして、普通に暮らしているだけでは見えてこない、それまでに知らなかった世界を知る機会を得てもらえば、と思っています。そして、子どもたちの社会への見方が広がり、自分自身の「将来就きたい生き甲斐のある仕事」を見つけられるよう、願っています。



株式会社ユニワールド代表 小谷 勝博さん(南荻窪在住)